館報 千代

第318号

発行
千代公民館
編集
広報委員会
印刷
龍共印刷株式会社

＜千代の人口＞
令和３年８月末日現在
男　744名（－６）
女　825名（－５）
合計　1,569名（－11）

祝成人

令和二年度 飯田市千代地区 成人式

今年、一月から八月十四日（土）に延期された成人式が八月九日（月）に中止となった。

すでに成人式を行う準備が整っており当日を楽しみにしていた方々も多かったであろう。

今回、館報において地区の皆様とともに〝紙上成人式〟を行い、新成人を祝いたい。

なお、この館報が発行される頃には、成人の皆様に式当日にサプライズ上映される予定であった思い出映像のＤＶＤが届けられているはずである。

新成人の皆さん、成人おめでとう。

萩原 夏菜さん（萩坪）

私は現在大学で観光業を学んでいます。家族や周りの人、ふるさとへの感謝を忘れず、社会人になるための準備を進めていきたいです。

藤本 舜平さん（田力）

名城大学経済学部に在籍しています。私には温かい家族と尊敬できる友達がいるので、安心して自分の人生を歩んでいきたいと思います。（写真右）

林 成美さん（毛呂窪）

高校卒業後は名古屋の専門学校に進学し、現在は地元の洋菓子店で働いています。成人を迎えられた事に感謝しながら、今後ともこの地域で暮らしていきたいです。

牧田 康平さん（大郡）

成人式中止は残念ですが、ここまで育ててくれた家族や友人、地域の皆様に感謝します。二十代は挑戦の年として成長できるよう精進します。

「新成人の皆さんへ」

まちづくり委員会会長　関口 俊博

令和二年度、成人式を迎えられた新成人の皆さんおめでとうございます。

また、今日まで二十年間深い愛情をもってお子さんを立派に育ててこられましたご両親、御家族の皆様に改めてお喜びを申し上げます。

戦後私達が経験したことのない世界的なコロナ禍で成人式が延期、そして中止を余儀なくされました。成人を迎えられた皆さんのお顔を拝見しながらお祝いのメッセージをお伝え出来ないのが誠に残念です。また機会がありましたら是非お話をお聞きしたいと思っております。

今、千代地区の皆さんもそれぞれ地域の活性化の為に色々な方策を考え頑張っています、将来皆さんと共に活動出来ることを願っております。

結びに、新成人の皆様の将来と御家族の皆様に幸多かれとご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

公民館長　木下 貴文

令和二年度の新成人の皆さんに、お祝いを伝える機会ができて、うれしく思っています。ご両親を始めご親族の皆様にも、お慶び申し上げます。

皆さんの成人式は新型コロナの感染状況に翻弄されました。自分ではどうにもならない理不尽な出来事です。残念な事ですが、この出来事を皆さんはマイナス思考にはまらないで対応されると期待しています。そう思うのは、実行委員の打ち合わせで皆さんの人柄と仲間とのやりとりを拝見したからです。

ひとつ皆さんにお話したいのは、やりたい事やらなければならない事に出会った時、やるということになったら達成感を感じられるように実行するということです。おもしろいと感じるなら、それは身に付き力になると思います。

これからも新成人の皆さんが一堂に会す機会を探していきたいと考えています。

成人を迎える人に贈る

地域協議会会長　北澤 勉

成人おめでとう。

人生の一つの節目として、それぞれに新たな思いを持たれたでしょうか。

成人とは、大人として責任を持った行動が出来る人と言うことです。人として人生を良い事を心掛けて、前に進まなくてはなりません。良いこととは何か判りますか。

①両親に感謝する。
②規則正しい生活をする。
③人生の目標に向かって、前向きに進む。

ぜひ、この三点に心掛けて、明るい気持ちで、大人の人生を歩んで下さい。

成人おめでとうございます

恩師　竹村 陽子

平成二十四年度千代小学校卒業生の皆さん、成人おめでとうございます。

今、「ひこうきぐも」（卒業文集と学級通信）を読み返して、千代小学校で皆さんと一緒に過ごした日々を懐かしく思い出しています。高学年として、いつも下級生のお手本になろうと、まじめに活動していた姿。よこね田んぼの田植えや稲刈り、善意の川清掃など地域とつながる学習。六年生の時の職業体験学習やプールの壁画作りもとてもすてきな思い出です。

これからも自分の選んだ道を「ひこうきぐも」のようにまっすぐに進んでいってください。皆さんの前途に幸多きことをお祈りしています。

いつも応援しています

恩師　鎌倉 郁美（旧姓・小林）

新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。

私は、千栄小学校を卒業された皆さんと過ごしました。当時の皆さんの印象は、とても純粋で、何でも吸収しようとする、頑張り屋さんの姿でした。

そして、四年生で陽睦さんが仲間に加わってくれたこと。五人はとても仲が良く、笑いの絶えない仲間でしたね。私も本当に楽しく過ごさせていただいたことを思い出しました。

大人になった皆さんに、偉そうに言えることはないけれど、またいつか会いたいですね。それまで元気でいてね!!

市議会議員　清水 優一郎

新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。ご家族の皆様にもお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの蔓延により、今を生きる私たちの価値観や社会構造が大きく変わろうとしています。これからの時代は、これまでの正解が正解とは限りません。求められるのは正解のない問い、あなた自身の答えです。多くの困難を抱える時代ですが、千代の山々に囲まれるようにして、地域の方々に見守られて育ってきた皆さんです。胸を張って激動の時代を生き、自らの道を切り拓いてください。応援しています。私も頑張ります。

イナズマ

先月、東京オリンピック２０２０が開催されコロナ禍の中、一年延期で行われ日本選手団はメダル金27個、銀14個、銅17個と総数58個の史上最多のメダルを獲得しました。

異例の状況下の中、華々しい活躍で自国開催の祭典を大いに盛り上げ、コロナ禍で落ち込んだ気持ちを忘れさせてくれるひと時でした。

皆さんはどの競技やどの選手に感動や勇気を貰いましたか？

開催に逆風が吹いた中、目覚ましい躍進を示し次のオリンピックへと続く足掛かりとなったのが若い選手の健闘だったと思います。

新競技のスケートボード女子パークでは金19歳、銀では12歳の選手がメダルを取り、スケートボードストリートでも男女共メダルを獲得し、メダリスト五人のうち四人が十代と、新風を吹き込んだ競技となり今後の活躍が期待される種目となったと思います。

スケートボードの選手層が若い事と仲間という共に切磋琢磨した事もあり、選手のチャレンジに対して一喜一憂している姿が印象的でした。

東京オリンピックを通じ、今回の選手団の活躍が子供達を中心に憧れを生んで、それがスポーツに取り組みスポーツ人口が増え、その中から素晴らしい競技者が出て来る事を願いながら、次回三年後のパリオリンピックを期待しましょう。

人形劇フェスタ2021 in 千代

去る、八月五日から八日までの四日間、いいだ人形劇フェスタが開催されました。昨年はコロナ禍のため中止を余儀なくされましたが、今年は主催者の努力で、出演団体（者）を感染レベル３以下の県内在住者に限定するなど、開催規模を大幅に縮小して行われました。

千代地区においても、会場を千代小学校に限定し、八月八日（日）に千代小三年生の皆さんによる「おむすびころりん」と、竜東中人形劇部『きらら』の皆さんによる「ヘンゼルとグレーテル」の二作品が上演されました。

当日は地区内外から多くの家族連れなどが鑑賞に訪れ、人形の動きに一喜一憂したり、子供だけでなく大人も十分楽しむひとときとなりました。

訪れた人々は、来年はコロナが収束して、いつもの人形劇フェスタが復活することを願いつつ会場をあとにしました。

どきどき人形げき

千代小学校三年　櫻井すみれ

夏休みに、三年生みんなで人形げきをしました。人形を作って、六月ぐらいから練習をしました。げきは、「おむすびころりん」のお話に、少しだけ「三びきのこぶた」が登場するお話にみんなでアレンジしました。

わたしは、「ねずみ④」と「ぶた②」のやくをやりました。練習は、大変だったけれど楽しかったです。

本番は、どきどきしたけれど、みんなでできて大せいこうのげきになりました。見に来てくれた家族が、「上手だったよ。」と言ってくれて、とてもうれしかったです。

人形劇フェスタを終えて

竜東中学校二年　川島　七海

竜東中学校人形劇部きららは、八月八日に千代小学校で「ヘンゼルとグレーテル」の上演を行いました。私は、ヘンゼルとグレーテルのお母さんとナレーターの鳥の役を演じました。私は、人形劇フェスタを終えて、楽しかった気持ちと疲れた気持ちがありました。まず楽しかったことは、私達人形劇部は四人という人数が少ない部活ですが、四人でもできる劇を考え、本番を迎えることができたことです。

また、今まで練習してきたことを発表で出し切ったことで疲れた感じがしました。しかし、見ていただいた人に楽しんでもらい、人形劇部みんなで成功できて良かったです。たくさんの方に来ていただきありがとうございました。

かんげきバスツアー

八月五日（木）人形劇フェスタかんげきバスツアーが行われました。小学生を対象に、プロの人形劇を「観劇」して「感激」を味わってほしい、との思いから、千代公民館・図書館・学童保育が企画し、児童・保護者三十二人が参加しました。

朝、公民館を出発し飯田人形劇場に到着。ホーボーズ・パペットシアター「おきなかぶ」を観劇しました。人形劇はほのぼの可愛く、終わると人形に手を振る子や、劇団の絵葉書を大事に持ち帰る子もいました。

午後はかざこし子どもの森公園で工作体験。染め紙のうちわづくり体験で、指まで赤や黄に染めながら、まさに世界で一つだけのうちわになりました。子どもたちからは普段と違う体験ができて、楽しかったとの声が聞かれました。

保育園の夏祭り

千代保育園園長　澤田　裕子

七月十六日（金）夏祭りを行いました。コロナ禍の為、家族や来賓の方々をご招待する事はできませんでしたが、それぞれの保育園で子ども達がアイデアを出し合って準備を進め当日を迎えました。手作りの子どもみこしを、わっしょいわっしょいと元気な掛け声で気負ったり、各園の年長さんが中心となって企画したお店屋さんやお化け屋敷、グーニーズの宝さがし、職員によるゲーム屋さん等、お楽しみ満載で未満児さんも大喜びでした。

お昼とおやつは、本物屋台の焼きそばやポップコーン等。お祭り気分でおいしくいただきました。願い事を書いた短冊や七夕飾り、家族の絵等も、夏祭りの雰囲気を盛り上げてくれました。

帰る前に、お家の方に来ていただいて、おみこしや盆踊り、ヨーヨー釣り、年長さんのバケツ太鼓等、ほんの少しの時間でしたが、夏祭りの雰囲気を一緒に楽しんでいただきました。

保護者会で用意してくださった花火や景品も持ち帰り、家でも夏まつりの余韻を味わう事ができたようです。

コロナ禍の為、保育園の行事も制限をせざるを得ない事がありますが、主役である子ども達の心が満たされる事を第一に考えて、これからも楽しんでいきたいと思います。

野外ステージ塗装作業

しゃくなげの会　清水　智（八ノ倉）

山村広場に野外ステージが完成したのが二〇〇六年（平成十八年）。今年で十五年がたちます。野外音楽祭や学童保育で利用してきました。木材で作られたこの施設は、風雨にさらされかなり傷んでいました。そろそろ再塗装した方がよいと判断し、六月二十七日の日曜日に、まちづくり委員会としゃくなげの会の役員で塗装作業を行いました。塗料や刷毛などの購入費は、所有者である市の林務課で負担してくださり、作業当日も一名参加してくださいました。この日は十数名での作業となり、午前中には終了しました。今回は特に傷んでいた床と外壁、板戸部分だけの塗装となりましたが、見違えるほどきれいになりました。

コロナ禍のため、二年続けて千代野外音楽祭は中止となっていますが、来年こそ新しくなったこのステージで、新たな形での野外音楽祭が開催されることを期待しています。

告知板

○十月二十四日（日）
千代地区市民運動会

○十一月三日（水・祝）
千代峠交流会
※南信濃公民館と共催

○十一月三日（水・祝）
竜東四地区合同婚活イベント

○十一月十四日（日）
千代地区文化祭@千栄小
※予定は九月十三日時点の内容です。変更となる場合があります。

戸籍の窓

○かなしみ

川手　通弘　九十才
茂樹　父（毛呂窪）
久保田美和子　七十才
義彦　妻（米川）
市瀬　久治　六十五才
達也　父（米峰）
熊谷　安彦　九十才
清彦　父（法全寺）